



# さくら 2005 夏のつづき

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 8 号  
〒420-0962  
静岡市葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 敬老会にお越しく下さい。

麻機園 今年の新人職員たち

麻機園に就職して5か月が過ぎようとしています。

入職して間もない頃は、仕事を覚える事と慣れる事に精一杯でした。その後は、時間が過ぎるのがとても早かったように感じます。今振り返ってみると利用者の方にとっても助けられた思いがします。少ししみりしていると優しい言葉を掛けられたり、名前がわからなくて困っていると教えて下さったり、その中で私たちは何ができたのでしょうか？

麻機園で感じた事は、“利用者の皆さんと職員の距離が近いこと” “職員が利用者一人ひとりの事を真剣に考えていること”です。私たちはこれからも一つ一つの事を確実に身に付け、自分に任せてもらえることを増やし、先輩方に追いつけるよう頑張っていきます。

この度、私たち新人職員は、「敬老会のアトラクション」という大役を仰せつかり！！浅畑(麻機)地区に残る伝説を「劇」にしました。この劇を通じて、利用者はもちろんご家族の皆さんとの良い関係作りのきっかけになれば・・・と思っています。

9月17日には是非是非見に来て下さい。

“沼のばあさん” ~伝説のあらすじ~

「流通センター」「こども病院」、そして「麻機園」のあるこの辺りは、昔は大きな沼でした。そこには巴川が流れています。皆さんは、どうして「巴川」という名前がついたのか知っていますか？そこに実は悲しい伝説があったのです・・・

御醍醐天皇の御代、新田義貞の弟がこの地に滞在中、村の長の娘小菊と愛し合い、女の子(小よし)が生まれました。小菊は三日後亡くなり、姥が小よしを育てました。ある夏、姥は病の床に臥しました。小よしは平癒祈願のため浅間神社でお百度参りを踏みました。ある日、川合の渡しを船で渡ろうとして、巴川の河童に水底に引き込まれてしまいました・・・

## 「ありがたい」

麻機園 服部孝太郎さん 85歳

毎日、本を読んだり、ベランダの花の世話をすることが楽しみ。花いじりはリハビリにもなっている。おかげで、体の調子もよく、ご飯もおいしい。ここに来て17年、経ってみればわけない年月。元気な頃は外で花をいじらせてもらっていたが、今はベランダがちょうどいい。

若いときは兵隊に行き、日本一周もした。鉄砲玉が当たったりして5回も手術した。ここに来てからも5回手術した。生死をさまよったこともあったが今は「ありがたい」の一語。同級生の3分の2は亡くなったが・・・ありがたいと思っている。

これからも現状維持で今の生活が続けばいいと思っている。お袋が96歳で亡くなったので、それまでは頑張りたい。病床のお袋の面会や、お葬式の際には前理事長に連れて行ってもらい、世話になってありがたかった。前理事長には本当に世話になった。



平成 17 年度

## 麻機園敬老会

日時 平成 17 年 9 月 17 日(土)  
10 時 20 分 ~

会場 麻機園 3 階 さくらの広場

### プログラム

第一部 敬老会 式典

第二部 アトラクション

1. “沼のばあさん”

2. 輪踊り

第三部 昼食会 “祝膳”

## 「朗らかに」 - 麻機園 齋藤わか子さん 86歳 -

ここへ来て良かったと思うことは、皆さんが優しく、よくしてくれること。主人と一緒に部屋で暮らせたことも幸せだった。主人が亡くなってからも、いつも皆さんが「わか子さん、わか子さん」と気にかけてくれる。いい人ばかり。お世辞じゃないよ。子どもも心配して時々面会に来てくれるし、嬉しいことばかりで心配事は何もない。食べるものもおいしい。歯が(全部自分の歯)良いから何でも食べられる。親に感謝して、一生懸命ハミガキをしている。



毎年お盆にお和尚さんのお話を聞けるのもありがたい。楽しみにしている。いい事ばかり考えて、悪い事は考えない、「朗らか」がモットーで笑って暮らしている。100歳まで元気で生きたい。自分でも生きると思う。食べるものがおいしく、みんなが良くしてくれて、笑っているから・・・たくさんの方が亡くなった分も長生きしたい。

## 「楽しみ」 - 麻機園 濱政子さん 95歳 -



寮母さんがよくやってくれる。この人はいい人ばかり。食べるものもおいしいし言うことはない。ここに来る人は皆「食べ物おいしい」と言っているよ。「早く出たい」なんて言う人はいないでしょう？

目がほとんど見えないからつくづく不自由だと思う。何でも人の手を借りなきゃいけないもの。テレビは見えないからラジオを聴いている。ラジオで野球を聴くのが楽しみ。野球のないときは、流行歌を聴いたり・・・

昔から何もしなかった。勤めたこともないし、家でお裁縫をするくらい。苦労知らず。こうしてお父さんの年金で暮らしていられて、子供たちにも迷惑かけずにいられる。だから何の不安も不満もありません。

## 「自然に」 麻機園 黒柳新一さん 92歳

ここでの生活はまあまあ。さくらの広場で催しをやるが、それを楽しみにしている。特に年頃の娘さんが踊ったりするのがいいねえ。

要望なんてもったいない事は言えないよ。最近は寿命を考える。子どもに手をかけさせたくない、とそれを願うよ。嫌われないようにしたい。好きで歳をとったわけじゃない、自然と恵まれただけ。お世話してくださる方に迷惑かけちゃいけないと思っている。



### 平成 17 年度 桜花敬老会

日時 平成 17 年 9 月 17 日(土)  
9 時 30 分 ~

会場 桜花 1 階 ヘルパーステーション

#### プログラム

- 第一部 敬老会 式典
- 第二部 アトラクション  
仲良し会 “日本舞踊”
- 第三部 昼食会 “祝膳”

## 最近思うこと

ケアハウス桜花 海野和子

将来に不安を覚えはじめた頃、自立している人を対象とした施設が建つということを聞きました。当時、前理事長の老人福祉に掛ける熱意に大変心を打たれ、私は「桜花」に入居することを決めました。

職員の方々は前理事長の志を受け継いで頑張っています。そんな姿に力づけられて、私もお役に立つことがあれば少しでも協力しようと思いました。私に出来ること、それは開園当初から行っていた掃除をすることです。桜花のため、自分のために、無理せずこれからも頑張っていこうと思っています。

